

# 世界を知ろう！

## アイルランドのお話・ ハープ演奏&ずるびきランチ

日 時	: 1月21日(日) 11:00~14:00
会 場	: お休み処かみしも
参加者	: 34名 スタッフ: 10名
ゲスト	: 小林京子さん
主 催	: かみしも結いの会

アイルランドの歴史（アイルランドの住民のルーツであるケルト人）の歴史を紹介しながら、アイルランドの伝統楽器であるアイリッシュハープでアイルランド民謡を中心とした演奏会が行われました。

当日の講師はさいたま市に在住の小林京子さんで、小林さんはアイルランドのシュタイナー学校で教師として勤務されており、その際にアイリッシュハープを習われたとの事でした。

このアイリッシュハープはいつの発祥か不明なほど古い歴史を持ち、オーケストラで使われているグランドハープの原型となったものです。

ケルト人は青銅器時代に中部ヨーロッパから広がり鉄器時代を経てブリテン諸島に渡来。以降ローマ人（シーザーの時代）との戦争、ゲルマン人の侵入、ヴァイキングの来襲などの争いの歴史であったそうです。現代では英連邦王国の一部（北アイルランド）とアイルランド共和国に至っています。アイルランドの独立を巡って近年では英国とIRAの闘争もありました。英国は北アイルランドの産業が発展しているためなかなか手放さないそうです。

アイルランド（ケルト人）の民謡（メロディ）は後にいろいろな人が詩をつけて世界で親しまれています。ケルト人の歴史の紹介を通じて欧州の歴史を垣間見ることでもでき、またアイルランドの民謡は今日、本邦で広く親しまれている曲が多く、知識の整理に役立つ講演でした。

ずるびきランチが提供された昼食を挟んでの講義と演奏で、演奏の最後には参加者有志との合唱もあり、質疑応答でも活発な質問もあって盛況に終わりました。また、有志の方々の合唱は素人とは思えないハイレベルでちょっとした驚きでした。



会場の様子



司会の菊地さん（当協会）



金ケ崎の郷土料理、「ずるびき」のランチ。



講師の小林さんによる講義



アイリッシュハープの演奏



有志の皆さんによる合唱